第 10 講 【近世編】アジアの繁栄
PART3 明の成立と衰退

Chapter 1　明の成立と制度

目標
洪武帝が行った独裁政治を学ぼう。
永楽帝はどのようにして即位したのかおさえよう。

1 明の成立と洪武帝の独裁

①［　　　　］（1368 年～ 1644 年）の成立

1368 年，［　　　　　　　］が建国し，［　　　　　　　］として即位

→都を**金陵**（現・南京）に定める

②洪武帝の独裁政治

洪武帝は中華帝国（漢民族）の復興を目指して**独裁政治**を行った

→**中書省**とその長官である丞相を廃止し，**六部**を皇帝の直属とした

→元号を洪武と定め，**一世一元の制**をはじめた

2 明の制度

①農村の統治

農村を里と甲に分けて統治する［　　　　　　　］を敷き，徴税・治安維持を担わせた

②税制基盤の整備

［　　　　　　　　　］（租税台帳）と［　　　　　　　　　］（土地台帳）をつくり，租税を明確にした

③兵制度

農業を行う**民戸**と軍役を課す**軍戸**を戸籍上区別

→軍戸を衛所の管理下に置き（［　　　　　　　］），兵制度を整えた

④法制度

明律・明令を定めた

⑤民衆の教化

里老人に人々が守るべき徳目である**六諭**を唱えさせた

3 永楽帝の即位と治世

①〔　　　　　　　　〕

燕王朱棣が**建文帝**を廃し，〔　　　　　　　〕として即位。「君側の奸を除き，帝室の難を靖んずる」

②永楽帝の内政

A　**北京**に遷都

B　皇帝を補佐する機関として内閣を設置し，**内閣大学士**に重要政務を補佐させた

C　『〔　　　　　　　　〕』『〔　　　　　　　　〕』（儒教の経典の注釈書）などを編さん

③永楽帝の外政

A　**モンゴル**親征，**ベトナム**出兵，チベット服属化

B　鄭和の遠征

イスラーム教徒で宦官の〔　　　　〕が大海軍を率いて東南アジアからインド洋へ遠征

→マラッカ王国を拠点に活動し，南海諸国に朝貢を促した

鄭和の遠征範囲

まとめ
洪武帝は中華帝国の復興を進めるため，中書省を廃止し六部を直属にするなど，独裁体制を敷いた。
燕王朱棣は靖難の役で建文帝を廃し，永楽帝に即位した。

Chapter 2　北虜南倭と明の衰退

目標
北虜の圧迫はどのように進んだのか知ろう。
17 世紀に明が衰退し，滅亡した経緯を理解しよう。

1　北虜南倭

15 世紀半ば以降，明は南北から圧迫を受けるようになった。

→〔　　　　　　　　〕

①モンゴルの侵入（北虜）

A　〔　　　　　　　　〕（瓦剌）

勢力を伸ばし，1449 年には〔　　　　　　　　　　　　〕が**正統帝（英宗）**を捕虜にした（〔　　　　　　　　〕）

B　〔　　　　　　　　〕（韃靼）

1550 年にタタールの〔　　　　　　　　　　　　　　〕が北京を包囲

→明は万里の長城の修築を余儀なくされた

②〔　　　　〕の活動（南倭）

A　**前期倭寇**

14 世紀後半，日本人が主体となり，朝鮮や中国の沿岸を襲った

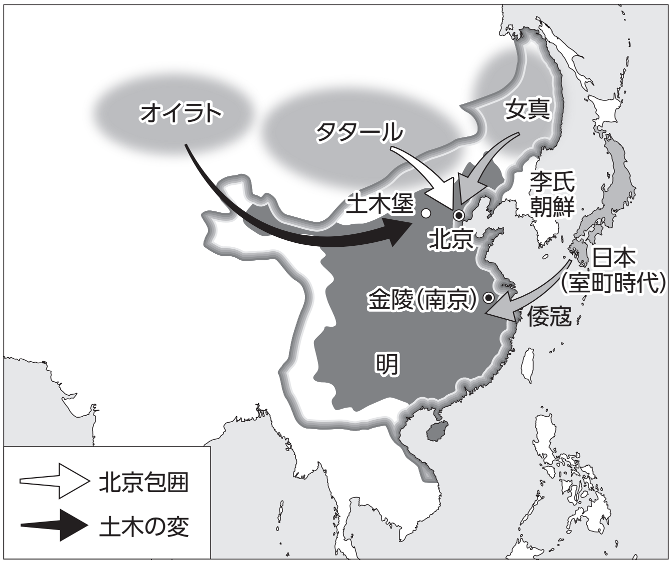
→明は人々が海外に出ることを禁じる〔　　　　〕で対抗

倭寇図巻

→**日明貿易（勘合貿易）**などにより一時鎮静化

B　**後期倭寇**

16 世紀は，中国人や朝鮮人も加わり，略奪を行った



明への圧迫

2　明の衰退と滅亡

①〔　　　　　　　〕の財政改革

万暦帝の時代に，税制を見直す**一条鞭法**などの施策が行われた

②財政窮乏

日本の朝鮮出兵に対する援軍や，〔　　　　　〕の台頭で軍事費が増加

③政治の混乱

顧憲成が設立した東林書院を拠点とする**東林派**と**非東林派**の政争が激化

④明の滅亡

1631年～1645年の〔　　　　　　　　　　　〕により1644年，明は滅亡

まとめ

オイラトのエセン＝ハンは土木の変で正統帝を捕虜にし，タタールのアルタン＝ハンは北京を包囲した。
豊臣秀吉の朝鮮出兵に対する援軍や女真の台頭で国力が疲弊すると，明は李自成の乱で滅亡した。

第10講　PART3　確認問題

1 明を建国し，洪武帝として即位したのはだれか。

① 広開土王　② 朱元璋
③ 趙匡胤　④ 朱全忠

2 明が税制基盤を整備するために作成した租税台帳を何というか。

① 明律　② 六諭
③ 賦役黄冊　④ 魚鱗図冊

3 建文帝を廃し，永楽帝が明の皇帝に就いた出来事はどれか。

① 靖康の変　② 靖難の役
③ 紅巾の乱　④ 安史の乱

4 永楽帝の時代に大海軍を率いて東南アジア，インド洋などに遠征したのはだれか。

① 司馬炎　② 冒頓単于
③ 鄭和　④ 成祖

5 土木の変で正統帝を捕虜にしたモンゴルの部族はどれか。

① タタール　② オイラト
③ 女真　④ 突厥

6 前期倭寇に対抗するため明がとった政策はどれか。

① 里甲制　② 衛所制
③ 鎖国　④ 海禁

7 万暦帝のもと，一条鞭法を施行するなどの財政改革を行った人物はだれか。

① 張居正　② 司馬遷
③ 李淵　④ 顧憲成

8 明の滅亡に繋がった農民の反乱はどれか。

① 黄巾の乱　② 李自成の乱
③ 朝鮮出兵　④ 北虜南倭

第10講　PART 3　確認問題　解答

1 解答：②

朱元璋は明を建国し，年号を洪武と定めて一世一元の制をはじめたため洪武帝と呼ばれる。

2 解答：③

明は**租税台帳の賦役黄冊**と土地台帳の魚鱗図冊を作成し，税制基盤を整備した。

3 解答：②

燕王朱棣は**靖難の役により建文帝を廃し，永楽帝として即位**した。③の紅巾の乱は，朱元璋の明建国に繋がった農民反乱。

4 解答：③

鄭和は永楽帝の命を受けて東南アジアからインド洋へ遠征し，明への朝貢を促した。

5 解答：②

土木の変で正統帝を捕虜にしたのはオイラトのエセン（＝ハン）である。タタールのアルタン＝ハンに北京を包囲されるなど，明はモンゴル人の侵入に苦しめられた。

6 解答：④

海賊行為をはたらく前期倭寇に対して**明は海禁政策をとり**，民間商人を貿易から排除して密貿易を取り締まった。①の里甲制は明代の農村統治の制度，②の衛所制は兵制度である。

7 解答：①

万暦帝の時代に**張居正が税制を見直すなどの財政改革を行った**。

8 解答：②

明が滅亡した直接的な原因となったのは李自成の乱などの農民反乱である。北虜南倭や豊臣秀吉の朝鮮出兵に対する援軍派遣も明衰退の一因となった。